

ふるさとの
(石川啄木)

解説 ふるさを訪れ、そのふるさとの山を見て、感動したことを述べた詩。

ふるさとの 山やまに 向むかひて 言いうこと なし

通釈 ふるさとの岩手の山を久しぶりに見て、言葉も出ないほどに感動した。ふるさとの山はなんと有り難く懐かしかったことか。と、啄木が幼少期を過ごした宝徳寺の森なども、思い起こした事だろう。

ふるさとの 山やまは ありがたき かな